

(別紙5)

整理番号 2020P-237
補助事業名 2020年度 障がいがある人が幸せに暮らせる社会を創る活動【緊急支援】
補助事業
補助事業者名 一般社団法人K u k u r u

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

コロナ禍による、外出自粛による家事負担増や、我が子が感染することを恐れる親御さんの介護負担増のため、障がいのある子どもがいる家庭でのストレス増大や孤立傾向が看過できない状況にあります。そこで私たちの施設では、休止していた「医療型短期入所」を再開したのですが、現状の設備では、感染予防を徹底した場合、1日1人しか預かることができませんでした。

そこで、本補助事業を活用し、子どもを預かる部屋の設備・備品を整備することで、1日2名の預かりを可能にすることに取り組みました。

(2) 実施内容

医療的ケアの必要な子どもを預かるための感染予防仕様室の整備

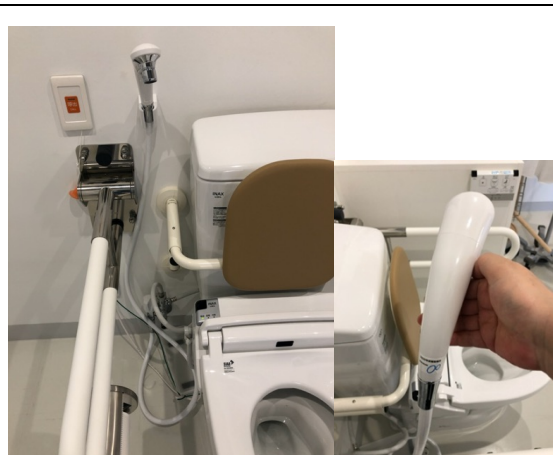
<http://kukuruokinawa.com/>

感染予防対策をした上で預かれる子どもの人数を増やせるよう、子どもの預かりをしている部屋を分割利用できるようにするために、これまで共用だった設備（洗浄シンク、トイレ、家電類、ゴミ箱など）を区画毎に備えました。

また、コロナ禍で高騰・品薄のため入手しづらくなっている、マスクやガウン、使い捨て手袋やアルコールといった医療消耗品を購入いたしました。



(1) 洗浄シンク



(2) 既存介護トイレに、シャワーヘッドを追加



(3) 小型冷蔵庫 (4) 電子レンジ



(5) 扇風機 2台



(6) 小型洗濯機



(7) 電気ケトル



(8) 医療用廃棄物用ゴミ箱



(9) 医療用廃棄物用ゴミ箱専用台



(10) 医療用 LED ライト



(11) 手指アルコール噴霧機 8台



2 予想される事業実施効果

子どもを預かる部屋の設備・備品が整ったことで、コロナ禍の中での定員を1名から2名に増やすことができました。これにより、介護から一時離れて休息したり、気持ちをリフレッシュする、いわゆる「レスパイト」をしていただける親御さんを増やすことができます。コロナ禍がいつ収束するのかわからないこの状況下で、ご家族がストレスを溜め込みすぎないように支援し、一緒に乗り越えていきたいと思っております。

また、ご家族の不安の一つに「家族が感染した場合、医療的ケアの必要な子どもをどこに預けるか」というものがあります。これについても、今回の整備事業である程度の対応ができるようになったと思っております。

3 印刷物等

本事業を紹介するウェブページ

<http://kukuruokinawa.com/>

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人K u k u r u (イッパンシャダンホウジン ククル)

住所： 〒902-0072

沖縄県那覇市字真地216-17

代表者： 代表理事 鈴木 恵 (ダイヒョウリジ スズキ メグミ)

担当部署： 事務局 (ジムキョク)

担当者名： 角 (スミ)

電話番号： 098-888-5996

F A X： 098-888-5997

E-mail： info@kukuruokinawa.com

URL： <http://kukuruokinawa.com>